

第3期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果（速報値）について

1 第3期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査票の回収数等について

2025年度から5か年を計画期間とする第3期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画を策定するために市民の皆様へ向けたニーズ調査を実施しました。回収数等の結果は以下のとおりです。

対象	配布・回収期間	配布方法	回答方法	配布数	回収数	回収率
0～5歳の子ども（未就学児）を持つ保護者	11月27日から配布 12月15日回収期限	各家庭へ郵送	郵送 又は WEB上で回答	1,700票 (H30:1,700票)	737票 (H30:814票)	43.4% (H30:47.9%)
小学校1～6年生の子どもを持つ保護者	11月27日から配布 12月15日回収期限	小学校を通して 学級ごとに配布	小学校に提出 又は WEB上で回答	846票 (H30:830票)	561票 (H30:642票)	66.3% (H30:77.3%)

2 就学前児童におけるニーズ調査結果（速報値）について

問1 お住まいの地区はどこですか。

地区名	0～5歳人口	人口割合	調査票送付数	送付割合	回収数	回答割合	回収率
西地区	2,055	30.7%	527	31.0%	239	32.4%	45.4%
中央地区	1,720	25.7%	455	26.8%	195	26.5%	42.9%
東地区	2,916	43.6%	718	42.2%	295	40.0%	41.1%
無回答	-	-	-	-	8	1.1%	-
計	6,691	100.0%	1,700	100.0%	737	100.0%	-

傾向：地区による回収率に、大きな差はみられなかった。

問2 あて名のお子さんの年齢（令和5年4月1日現在）をご記入ください。

地区名	人口	人口割合	調査票送付数	送付割合	回収数	回答割合	回収率
0歳児	919	13.7%	233	13.7%	49	6.7%	21.0%
1歳児	1,060	15.8%	270	15.9%	77	10.4%	28.5%
2歳児	1,119	16.7%	284	16.7%	83	11.3%	29.2%
3歳児	1,143	17.1%	290	17.1%	95	12.9%	32.8%
4歳児	1,208	18.1%	307	18.1%	135	18.3%	44.0%
5歳児	1,242	18.6%	316	18.5%	171	23.2%	54.1%
無回答	-	-	-	-	127	17.2%	-
計	6,691	100.0%	1,700	100.0%	737	100.0%	-

傾向：0歳児の保護者からの回収率がやや低く、年齢が上がるごとに回収率が高くなっている。

問 7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	159	21.6	235	28.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	365	49.5	399	49.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	2	0.3	3	0.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	21	2.8	46	5.7
いずれもない	163	22.1	130	16.0
無回答	27	3.7	1	0.1

傾向：日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人等がいる家庭の割合が減少している。

問 8 子育てに関して悩んでいること、または不安に思っていることはどのようなことですか。（複数回答）

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
育児の方法がよくわからない	40	5.4	31	3.8
子どもの病気や発育・発達に関すること	191	25.9	168	20.6
子どもとの接し方に自信が持てない	76	10.3	88	10.8
子育てに関しての話し相手や相談相手がいない	26	3.5	24	2.9
配偶者・パートナーの子育ての協力が少ない、または意見が合わない	78	10.6	96	11.8
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	83	11.3	72	8.8
自分の子育てについて、親族や近隣の人などまわりの目が気になる	32	4.3	40	4.9
子育てのストレスを解消できない	104	14.1	115	14.1
子どもを叱りすぎているような気がする	191	25.9	250	30.7
子育てと仕事の両立に関すること	240	32.6	278	34.2
子育てをするための経済的問題(生活費・教育費など)に関すること	320	43.4	310	38.1
子どもが成長していく将来の社会状況等に関すること	247	33.5	242	29.7
保育所等の利用に関すること	68	9.2	98	12.0
幼稚園の入園及び退園後の保育に関すること	47	6.4	66	8.1
小学校の生活や中学校への進学に関すること	147	19.9	126	15.5
小学校の放課後や長期休業(春・夏・冬休み)などの過ごし方に関すること	160	21.7	141	17.3
子どもの友だちづきあい(いじめ・孤立化など)に関すること	166	22.5	203	24.9
不登校・非行などに関すること	63	8.5	53	6.5
その他	12	1.6	13	1.6
特になし	106	14.4	110	13.5
無回答	45	6.1	12	1.5

傾向：平成 30 年度から引き続き、子育てをするための経済的問題に関して悩んでいる保護者が多く、割合も増加している。また、子どもの病気や発育・発達に関すること、小学校の生活や中学校への進学に関すること、小学校の放課後や長期休業などの過ごし方に関することで悩んでいる保護者の割合が増加している。

問 9-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（複数回答）

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
祖父母等の親族	512	81.9	632	83.7
友人や知人	421	67.4	575	76.2
近所の人	39	6.2	71	9.4
子育て支援施設(子育て支援センターや児童センターなど)・NPO	58	9.3	63	8.3
保健師	18	2.9	24	3.2
保育士	110	17.6	121	16.0
幼稚園教諭	119	19.0	154	20.4
民生委員・児童委員	1	0.2	0	0.0
かかりつけの医師	37	5.9	63	8.3
市の子育て相談窓口	15	2.4	8	1.1
利用者支援員(子育てナビ)	2	0.3	3	0.4
その他	30	4.8	21	2.8
無回答	5	0.8	8	1.1
非該当(気軽に相談できるところはない)	112		59	

傾向：祖父母等の親族、友人や知人、近所の人に相談できる保護者の割合が減少している。また、気軽に相談できるところがない保護者が増加している。

問 11 あて名のお子さんの保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	199	27.0	164	20.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	50	6.8	48	5.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	225	30.5	261	32.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	2.0	21	2.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	191	25.9	290	35.6
これまで就労したことがない	10	1.4	21	2.6
無回答	47	6.4	9	1.1

傾向：フルタイムで就労している母親の割合が増加している。

問11-2 パート・アルバイト等で就労していると回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(母親)

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
フルタイムへの転換予定がある	20	8.3	24	8.5
フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない	90	37.5	71	25.2
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	113	47.1	161	57.1
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	12	5.0	16	5.7
無回答	5	2.1	10	3.5
非該当	497		532	

傾向：フルタイムへの転換を希望する母親の割合が増加している。

問11-3 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(母親)

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	41	20.4	69	22.2
1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい	106	52.7	140	45.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	46	22.9	78	25.1
無回答	8	4.0	24	7.7
非該当	536		503	

※1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい

平均値：令和5年度 4.5歳 平成30年度 4.8歳

※すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

働きたい1週あたりの日数：令和5年度 4.0日 平成30年度 3.9日

働きたい1日あたりの時間：令和5年度 4.7時間 平成30年度 4.6時間

傾向：一番下の子どもがある程度の年齢になってから就労したい母親の割合が増加している。

問12 あて名のお子さんは現在、平日、「定期的に」幼稚園・保育施設等を利用していますか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用している	588	79.8	612	75.2
利用していない	86	11.7	202	24.8
無回答	63	8.5	0	0.0

傾向：平日、「定期的に」幼稚園・保育施設等利用している子どもの割合が増加している。

問12-1 「定期的に」利用している幼稚園・保育施設等をお答えください。（複数回答）

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	134	22.8	251	41.0
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	31	5.3	59	9.6
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	43	7.3	70	11.4
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	128	21.8	138	22.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	263	44.7	117	19.1
小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	21	3.6	11	1.8
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	11	1.9	17	2.8
その他の認可外保育施設	13	2.2	15	2.5
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	2	0.3	1	0.2
その他	14	2.4	10	1.6
無回答	0	0.0	0	0.0
非該当	149		202	

傾向：認定こども園の利用者の割合が増加している一方で、幼稚園に関する利用者の割合は減少しており、この5年間で幼稚園が認定こども園へ8園移行したことが要因であると推測される。また、小規模保育施設の利用者の割合が増加しているが、この5年間で小規模保育施設が7園増えたことが要因であると推測される。

問12-5 幼稚園・保育施設等を「利用していない」方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。（複数回答）

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)	35	40.7	90	44.6
子どもの祖父母や親戚の人がみている	3	3.5	13	6.4
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0	2	1.0
利用したいが、保育園・幼稚園等に空きがない	7	8.1	26	12.9
利用したいが、経済的な理由で保育園・幼稚園等を利用できない	5	5.8	8	4.0
利用したいが、延長・夜間等の時間帯、場所等の条件が合わない	2	2.3	3	1.5
利用したいが、質や内容など、希望する保育園・幼稚園等がない	1	1.2	6	3.0
子どもがまだ小さいため	36	41.9	100	49.5
その他	15	17.4	23	11.4
無回答	2	2.3	4	2.0
非該当	651		612	

傾向：利用する必要がない方や、保育園・幼稚園等に空きがないため利用できない方の割合は減少している。

問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、今後、平日において「定期的に」幼稚園、保育施設等を利用したいと思いますか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用したい	654	88.7	796	97.8
利用したいと思わない	15	2.0	13	1.6
無回答	68	9.2	5	0.6

傾向：大半の保護者が定期的に幼稚園、保育施設を利用したいと思っている。

問13-1 定期的に利用したい幼稚園・保育施設・サービス等をお答えください。（複数回答）

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	272	41.6	483	60.7
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	80	12.2	146	18.3
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	152	23.2	252	31.7
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	200	30.6	238	29.9
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	372	56.9	286	35.9
小規模保育施設	54	8.3	42	5.3
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	29	4.4	48	6.0
その他の認可外保育施設	16	2.4	19	2.4
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	62	9.5	45	5.7
その他	11	1.7	8	1.0
無回答	4	0.6	7	0.9
非該当	83		18	

傾向：定期的に幼稚園を利用したい保護者の割合が減少している一方で、認定こども園を利用したい保護者が増加している。また、小規模保育施設、ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービスを利用したい保護者も増加している。

問 13-2 定期的に利用したい幼稚園・保育施設・サービス等について、優先順位を1位から3位まで選んでください。

1位

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	164	25.1	305	38.3
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	26	4.0	69	8.7
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	12	1.8	9	1.1
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	121	18.5	155	19.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	262	40.1	149	18.7
小規模保育施設	10	1.5	8	1.0
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	7	1.1	7	0.9
その他の認可外保育施設	6	0.9	1	0.1
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	3	0.5	0	0.0
その他	5	0.8	2	0.3
無回答	38	5.8	91	11.4
非該当	83		18	

2位

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	106	16.2	112	14.1
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	37	5.7	38	4.8
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	102	15.6	173	21.7
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	94	14.4	60	7.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	104	15.9	117	14.7
小規模保育施設	18	2.8	9	1.1
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	9	1.4	18	2.3
その他の認可外保育施設	2	0.3	9	1.1
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	23	3.5	15	1.9
その他	13	2.0	2	0.3
無回答	146	22.3	243	30.5
非該当	83		18	

3位

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	73	11.2	54	6.8
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	23	3.5	25	3.1
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	90	13.8	83	10.4
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	48	7.3	44	5.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	53	8.1	57	7.2
小規模保育施設	37	5.7	26	3.3
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	20	3.1	21	2.6
その他の認可外保育施設	8	1.2	5	0.6
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	39	6.0	34	4.3
その他	28	4.3	2	0.3
無回答	235	35.9	445	55.9
非該当	83		18	

傾向：定期的に利用したい施設として認定こども園を優先する保護者が多い傾向にある。

問14 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
子育てルーム・子育て支援センター	78	10.6	129	15.8
児童センター午前中幼児開放	63	8.5	100	12.3
利用していない	544	73.8	629	77.3
無回答	79	10.7	19	2.3

※子育てルーム・子育て支援センターの利用頻度

平均値：令和5年度 1週あたり1.2回、もしくは1ヶ月あたり2.4回

平成30年度 1週あたり1.2回、もしくは1ヶ月あたり2.2回

※児童センターの利用頻度

平均値：令和5年度 1週あたり1.3回、もしくは1ヶ月あたり2.4回

平成30年度 1週あたり1.2回、もしくは1ヶ月あたり2.1回

傾向：地域子育て支援事業などを利用する保護者の割合は減少している。

問15 地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用していないが、今後利用したい	169	22.9	130	16.0
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	72	9.8	71	8.7
新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	402	54.5	541	66.5
無回答	94	12.8	72	8.8

傾向：地域子育て支援拠点事業などを新規に利用したい、利用日数を増やしたい保護者の割合は増加傾向にある。

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

知っている事業

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
母親教室、パパママ教室、赤ちゃん教室	605	82.1	725	89.1
子育て世代包括支援センター（保健師による相談）	460	62.4	352	43.2
家庭教育に関する相談	235	31.9	231	28.4
教育研究所の教育相談	136	18.5	142	17.4
幼稚園の地域開放	456	61.9	611	75.1
子育ての相談窓口	450	61.1	559	68.7
市発行の子育て支援情報誌「のんきこんきげんき」	261	35.4	310	38.1
ファミリー・サポート・センター事業	489	66.4	571	70.1

利用したことがある事業

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
母親教室、パパママ教室、赤ちゃん教室	345	46.8	496	60.9
子育て世代包括支援センター（保健師による相談）	183	24.8	148	18.2
家庭教育に関する相談	19	2.6	14	1.7
教育研究所の教育相談	5	0.7	6	0.7
幼稚園の地域開放	207	28.1	360	44.2
子育ての相談窓口	70	9.5	67	8.2
市発行の子育て支援情報誌「のんきこんきげんき」	95	12.9	177	21.7
ファミリー・サポート・センター事業	63	8.5	91	11.2

今後利用したい事業

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
母親教室、パパママ教室、赤ちゃん教室	176	23.9	191	23.5
子育て世代包括支援センター（保健師による相談）	206	28.0	180	22.1
家庭教育に関する相談	161	21.8	155	19.0
教育研究所の教育相談	143	19.4	140	17.2
幼稚園の地域開放	210	28.5	295	36.2
子育ての相談窓口	187	25.4	218	26.8
市発行の子育て支援情報誌「のんきこんきげんき」	177	24.0	276	33.9
ファミリー・サポート・センター事業	224	30.4	236	29.0

傾向：知っている事業、利用したことのある事業、今後利用したい事業のいずれにおいても「子育て世代包括支援センター」と「家庭教育に関する相談」の割合が増加しているが、その他の事業はいずれも横ばいか減少傾向にある。

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか。

土曜日の利用希望

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	386	52.4	524	64.4
ほぼ毎週利用したい	79	10.7	78	9.6
月に1~2回は利用したい	204	27.7	193	23.7
無回答	68	9.2	19	2.3

日曜日・祝日の利用希望

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	506	68.7	677	83.2
ほぼ毎週利用したい	18	2.4	13	1.6
月に1~2回は利用したい	145	19.7	99	12.2
無回答	68	9.2	25	3.1

傾向：土曜日、日曜日・祝日の利用を希望する保護者の割合は増加している。

問19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことはありますか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
あった	434	58.9	440	54.1
なかった	144	19.5	159	19.5
無回答・非該当	159	21.6	215	26.4

傾向：病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できない子どもの割合が増加している。

問19-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法と、それぞれの日数をご記入ください。（複数回答）

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
父親が仕事を休んだ	156	35.9	88	20.0
母親が仕事を休んだ	317	73.0	289	65.7
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	116	26.7	151	34.3
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	100	23.0	135	30.7
ファミリー・サポート・センター事業を利用した	2	0.5	7	1.6
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	0.7	2	0.5
その他	8	1.8	9	2.0
無回答	7	1.6	10	2.3
非該当	303		374	

※父親が仕事を休んだ日数 平均値：令和5年度 5.8日 平成30年度 3.3日

※母親が仕事を休んだ日数 平均値：令和5年度 14.1日 平成30年度 6.9日

※親族・知人に子どもをみてもらった日数 平均値：令和5年度 7.3日 平成30年度 5.7日

※父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数 平均値：令和5年度 22.0日 平成30年度 8.4日

※ファミリー・サポート・センター事業を利用した日数 平均値：令和5年度 1.0日 平成30年度 2.3日

※仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数 平均値：令和5年度 1.7日 平成30年度 3.0日

傾向：父母が仕事を休んで、病気やケガの子どもをみる傾向が強まっている。

問19-2 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。また、そう思う場合、1年間の利用したい日数もご記入ください

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	160	36.9	127	28.9
利用したいとは思わない	270	62.2	307	69.8
無回答	4	0.9	6	1.4

※できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数 平均値：令和5年度 12.7日 平成30年度 10.2日

傾向：病児・病後児保育施設等を利用したい保護者の割合は増加している。

問 20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数もご記入ください

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
一時保育	24	3.3	24	2.9
幼稚園の預かり保育	73	9.9	137	16.8
ファミリー・サポート・センター事業	10	1.4	17	2.1
その他	6	0.8	6	0.7
利用していない	546	74.1	642	78.9
無回答	83	11.3	24	2.9

※一時保育の利用頻度

平均値：令和5年度 1年あたり 20.0日 平成30年度 1年あたり 9.9日

※幼稚園の預かり保育の利用頻度

平均値：令和5年度 1年あたり 35.9日 平成30年度 1年あたり 17.7日

※ファミリー・サポート・センター事業の利用頻度

平均値：令和5年度 1年あたり 4.9日 平成30年度 1年あたり 1.4日

傾向：幼稚園の預かり保育、ファミリー・サポート・センター事業の利用割合は減少しているが、利用頻度はいずれも増加している。

問 21 地域の子育て支援事業について、現在の利用状況、今後の利用意向、利用したい場所をお伺いします。

現在の利用意向（利用している実績）

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育て支援センター・子育てルーム	224	30.4	330	40.5
子育て短期支援事業	3	0.4	8	1.0
一時保育	41	5.6	56	6.9
休日保育	12	1.6	20	2.5
病児・病後児保育	7	0.9	18	2.2

今後の利用意向（今後の利用希望）

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育て支援センター・子育てルーム	232	31.5	317	38.9
子育て短期支援事業	71	9.6	63	7.7
一時保育	141	19.1	164	20.1
休日保育	151	20.5	123	15.1
病児・病後児保育	202	27.4	189	23.2

傾向：子育て支援センター・子育てルームを利用したい保護者の割合は減少している。また、休日保育や病児・病後児保育を利用したい保護者の割合は増加している。

問22 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週当たりの日数もご記入ください。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
自宅	192	48.5	184	55.8
祖父母宅や友人・知人宅	53	13.4	58	17.6
習い事	119	30.1	124	37.6
児童センター	31	7.8	27	8.2
放課後児童クラブ(学童保育)	193	48.7	145	43.9
ファミリー・サポート・センター事業	3	0.8	4	1.2
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	56	14.1	56	17.0
無回答	62	15.7	34	10.3
非該当	341		484	

※希望する週あたりの平均日数等

自宅	: 令和5年度 4.1日	平成30年度 3.6日
祖父母宅や友人・知人宅	: 令和5年度 2.5日	平成30年度 2.2日
習い事	: 令和5年度 1.9日	平成30年度 1.8日
児童センター	: 令和5年度 3.1日	平成30年度 2.7日
放課後児童クラブ(学童保育)	: 令和5年度 4.2日	下校時から 17:09まで 平成30年度 4.1日 下校時から 17:08まで
ファミリー・サポート・センター事業	: 令和5年度 5.0日	平成30年度 1.0日
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	: 令和5年度 2.7日	平成30年度 2.5日

傾向: 放課後児童クラブで過ごさせたい保護者の割合が増加しており、それ以外の場所で過ごさせたいと考える保護者の割合が減少している。

問23 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週当たり日数もご記入ください。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
自宅	271	68.4	212	64.2
祖父母宅や友人・知人宅	68	17.2	61	18.5
習い事	174	43.9	170	51.5
児童センター	26	6.6	31	9.4
放課後児童クラブ(学童保育)	108	27.3	86	26.1
ファミリー・サポート・センター事業	1	0.3	3	0.9
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	77	19.4	67	20.3
無回答	62	15.7	36	10.9
非該当	341		484	

※希望する週あたりの平均日数等

自宅	: 令和5年度 3.9日	平成30年度 3.4日
祖父母宅や友人・知人宅	: 令和5年度 2.2日	平成30年度 2.3日
習い事	: 令和5年度 2.1日	平成30年度 2.3日
児童センター	: 令和5年度 2.4日	平成30年度 2.7日
放課後児童クラブ(学童保育)	: 令和5年度 3.8日	下校時から 17:27まで 平成30年度 3.8日 下校時から 17:12まで
放課後児童クラブ(預けたい学年)	: 令和5年度 年生まで	平成30年度 5.1年生まで
ファミリー・サポート・センター事業	: 令和5年度 5.0日	平成30年度 3.5日
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	: 令和5年度 2.8日	平成30年度 2.6日

傾向: 自宅、放課後児童クラブで過ごさせたい保護者の割合が増加しており、その他の場所で過ごさせたい保護者の割合が減少している。

問 24 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

母親

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
働いていなかった	314	42.6	500	61.4
取得した(取得中である)	283	38.4	209	25.7
取得していない	65	8.8	100	12.3
無回答	75	10.2	5	0.6

父親

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
働いていなかった	4	0.5	5	0.6
取得した(取得中である)	73	9.9	23	2.8
取得していない	559	75.8	738	90.7
無回答	101	13.7	48	5.9

傾向：育児休業を取得する父母の割合が増加している。

問 24-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	117	50.6	59	37.3
それ以外だった	113	48.9	97	61.4
無回答	1	0.4	2	1.3
非該当	506		656	

父親

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	3	4.5	2	8.7
それ以外だった	61	92.4	18	78.3
無回答	2	3.0	3	13.0
非該当	671		791	

傾向：母親は年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングで職場復帰し、父親はそれ以外の時期に職場復帰する傾向が強まっている。

問24-6 現在も育児休業中である方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、1歳になる前に復帰しますか。

母親

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
1歳になるまで育児休業を取得したい	28	84.8	38	92.7
1歳になる前に復帰したい	4	12.1	1	2.4
無回答	1	3.0	2	4.9
非該当	704		773	

※父親は育児休業中の方が少数であったため省略。

傾向：子どもが1歳になるまで育児休業を取得したい母親の割合が減少している。

問25 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
親子が気軽に集まれる場所などをつくってほしい(子育て支援センターなど)	191	25.9	224	27.5
子育てに困ったときに相談または情報を得られる場所を増やしてほしい	181	24.6	176	21.6
子育てについて学べる機会をつくってほしい	143	19.4	154	18.9
親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい(児童センターは除く)	361	49.0	439	53.9
子育てサークル活動をするための場所をつくってほしい	41	5.6	26	3.2
専業主婦など誰でも気軽に子どもを預けられる保育サービスを拡充してほしい	242	32.8	300	36.9
母子保健・健診を拡充してほしい	153	20.8	183	22.5
安心して子どもが医療機関にかかれる制度を拡充してほしい	309	41.9	296	36.4
子どもが病気や回復期のときに預かってくれる保育サービスを増やしてほしい	213	28.9	185	22.7
保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい	352	47.8	466	57.2
保育所を増やしてほしい	89	12.1	107	13.1
認定こども園を増やしてほしい	109	14.8	112	13.8
小規模保育施設を増やしてほしい	35	4.7	28	3.4
夜間保育所を整備してほしい	51	6.9	40	4.9
休日保育を増やしてほしい	108	14.7	91	11.2
一時保育を増やしてほしい	84	11.4	91	11.2
病児・病後児保育を増やしてほしい	137	18.6	141	17.3
児童センターを増やしてほしい	67	9.1	113	13.9
学童保育など放課後の小学生を安心して預けられる場所を増やしてほしい	239	32.4	285	35.0
小学校の長期休業(春・夏・冬休み)に子どもを安心して預けられる体制を整備してほしい	273	37.0	315	38.7
非行防止など青少年育成の体制を整備してほしい	89	12.1	113	13.9
多子世帯の優先入居や広い間取りの割り当てなど、市営住宅入居面で配慮してほしい	37	5.0	52	6.4
残業時間短縮や休暇取得促進など、子育てのための職場環境の改善を企業に働きかけてほしい	193	26.2	234	28.7
その他	48	6.5	74	9.1
特になし	28	3.8	23	2.8
無回答	88	11.9	55	6.8

傾向：親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしいという要望が引き続き多い。また、保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしいという要望も多いが、保育無償化の影響により平成30年度より大幅に減少している。

問26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
1(低い)	67	9.1	62	7.6
2	146	19.8	162	19.9
3	293	39.8	390	47.9
4	118	16.0	146	17.9
5(高い)	27	3.7	32	3.9
無回答	86	11.7	22	2.7

平均値：令和5年度 2.8、平成30年度 2.9

傾向：子育ての環境や支援への満足度はわずかに減少しており、今後はさらに満足度を上昇させなければならない状況にある。

3 就学後児童におけるニーズ調査結果（速報値）について

問1 お住まいの地区はどこですか。

地区名	1~6年生人口	人口割合	調査票配布数	配布割合	回収数	回答割合	回収率
西地区	2,775	32.7%	256	30.3%	149	26.6%	58.2%
中央地区	2,006	23.6%	221	26.1%	180	32.1%	81.4%
東地区	3,702	43.6%	369	43.6%	229	40.8%	62.1%
無回答	-	-	-	-	3	0.5%	-
計	8,483	100.0%	846	100.0%	561	100.0%	-

傾向：中央地区の回答率が高い傾向となっている。

問2 お子さんの学年をご記入ください。

地区名	人口	人口割合	調査票配布数	配布割合	回収数	回答割合	回収率
1年生	1,306	15.4%	136	16.1%	98	17.5%	72.1%
2年生	1,411	16.6%	139	16.4%	91	16.2%	65.5%
3年生	1,369	16.1%	154	18.2%	98	17.5%	63.6%
4年生	1,453	17.1%	132	15.6%	82	14.6%	62.1%
5年生	1,446	17.1%	132	15.6%	89	15.9%	67.4%
6年生	1,498	17.7%	153	18.1%	84	15.0%	54.9%
無回答	-	-	-	-	19	3.3%	-
計	8,483	100.0%	846	100.0%	561	100.0%	-

傾向：1年生のお子さんを持つ保護者の回答率がやや高く、6年生のお子さんを持つ保護者の回答率がやや低い傾向となっている。

問 6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	141	25.1	151	23.5
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	274	48.8	330	51.4
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	5	0.9	5	0.8
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	37	6.6	56	8.7
いずれもない	100	17.8	95	14.8
無回答	4	0.7	5	0.8

傾向：日常的に子どもをみてもらえる親族・知人がいる保護者の割合が増加している一方で、緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる親族・知人がいる保護者の割合は減少している。また、いずれもない保護者の割合は増加している。

問 7 子育てに関して悩んでいること、または不安に思っていることはどのようなことですか。(複数回答)

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
育児の方法がよくわからない	16	2.9	25	3.9
子どもの病気や発育・発達に関すること	79	14.1	99	15.4
子どもとの接し方に自信が持てない	39	7.0	67	10.4
子育てに関しての話し相手や相談相手がいない	16	2.9	17	2.6
配偶者・パートナーの子育ての協力が少ない、または意見が合わない	57	10.2	73	11.4
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	38	6.8	32	5.0
自分の子育てについて、親族や近隣の人などまわりの目が気になる	17	3.0	33	5.1
子育てのストレスを解消できない	41	7.3	52	8.1
子どもを叱りすぎているような気がする	125	22.3	241	37.5
子育てと仕事の両立に関すること	133	23.7	158	24.6
子育てをするための経済的問題(生活費・教育費など)に関すること	207	36.9	216	33.6
子どもが成長していく将来の社会状況等に関すること	163	29.1	178	27.7
保育所等の利用に関すること	5	0.9	4	0.6
幼稚園の入園及び退園後の保育に関すること	2	0.4	8	1.2
小学校の生活や中学校への進学に関すること	91	16.2	121	18.8
小学校の放課後や長期休業(春・夏・冬休み)などの過ごし方に関すること	77	13.7	99	15.4
子どもの友だちづきあい(いじめ・孤立化など)に関すること	126	22.5	193	30.1
不登校・非行などに関すること	20	3.6	21	3.3
その他	7	1.2	10	1.6
特になし	135	24.1	90	14.0
無回答	12	2.1	11	1.7

傾向：配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない、子育てをするための経済的問題に関すること、子どもが成長していく将来の社会状況等に関することなどに関する悩みの割合が増加しているが、大多数の項目については悩みの割合が減少しており、特になしと回答した保護者の割合が大幅に増加している。

問 8-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（複数回答）

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
祖父母等の親族	374	75.7	469	79.5
友人や知人	368	74.5	473	80.2
近所の人	30	6.1	56	9.5
子育て支援施設(子育て支援センターや児童センターなど)・NPO	19	3.8	22	3.7
小学校教諭	61	12.3	84	14.2
民生委員・児童委員	0	0.0	3	0.5
かかりつけの医師	17	3.4	21	3.6
市の子育て相談窓口	0	0.0	8	1.4
その他	18	3.6	22	3.7
無回答	2	0.4	2	0.3
非該当	67		52	

傾向：引き続き、祖父母等の親族、友人や知人を相談先としている保護者の割合が多いが、減少傾向にある。

問 10 あて名のお子さんの保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	177	31.6	142	22.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	0.9	3	0.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	238	42.4	278	43.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	1.2	6	0.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	101	18.0	183	28.5
これまで就労したことがない	13	2.3	15	2.3
無回答	20	3.6	15	2.3

傾向：フルタイムで就労している母親の割合が増加している。

問10-1 パート・アルバイト等で就労していると回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。（母親）

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムへの転換予定がある	28	11.4	19	6.7
フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない	71	29.0	92	32.4
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	125	51.0	160	56.3
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	19	7.8	9	3.2
無回答	2	0.8	4	1.4
非該当	316		358	

傾向：フルタイムへの転換予定がある保護者の割合が増加しており、パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する保護者の割合が減少している。

問10-2 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」方
にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(母親)

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	41	36.0	62	31.3
1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	31	27.2	80	40.4
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	39	34.2	52	26.3
無回答	3	2.6	4	2.0
非該当	447		444	

※1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい

平均値：令和5年度 9.2歳 平成30年度 6.7歳

※すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

フルタイムで就労したい：令和5年度 0人 平成30年度 5人

パートタイム等で働きたい：令和5年度 39人 平成30年度 47人

パートタイムで働きたい1週あたりの日数：令和5年度 4.0日 平成30年度 3.7日

パートタイムで働きたい1日あたりの時間：令和5年度 4.9時間 平成30年度 5.2時間

傾向：1年以内に就労したい母親の割合が増加しているが、子育てや家事などに専念したい母親の割合も増加している。

問11 お子さんは、現在、児童センターを利用していますか。また、おおよその利用回数(頻度)はどの程度ですか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用している	78	13.9	142	22.1
利用していない	473	84.3	494	76.9
無回答	10	1.8	6	0.9

※利用している平均回数：令和5年度 1週間あたり 3.1回、もしくは1ヵ月あたり 10.2回

平成30年度 1週間あたり 3.5回、もしくは1ヵ月あたり 7.3回

傾向：児童センターを利用している児童の割合が減少しており、利用頻度も減少している。

問12 児童センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。また、おおよその利用回数(頻度)は、どの程度ですか

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用していないが、今後利用したい	89	15.9	114	17.8
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	23	4.1	21	3.3
新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	381	67.9	393	61.2
無回答	68	12.1	114	17.8

※利用していないが、今後利用したい平均回数

令和5年度 1週間あたり 2.3回、もしくは1ヵ月あたり 7.0回

平成30年度 1週間あたり 2.1回、もしくは1ヵ月あたり 5.9回

※すでに利用しているが、利用を増やしたい平均回数

令和5年度 1週間あたり 2.3回、もしくは1ヵ月あたり 8.2回

平成30年度 1週間あたり 2.2回、もしくは1ヵ月あたり 8.0回

傾向：児童センターを新たに利用したいと考えている保護者の割合は減少している。

問 13 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

知っている事業

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
家庭教育に関する相談	152	27.1	189	29.4
教育研究所の教育相談	110	19.6	126	19.6
子育ての相談窓口	307	54.7	379	59.0
ファミリー・サポート・センター事業	339	60.4	396	61.7

利用したことがある事業

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
家庭教育に関する相談	10	1.8	9	1.4
教育研究所の教育相談	9	1.6	12	1.9
子育ての相談窓口	32	5.7	38	5.9
ファミリー・サポート・センター事業	55	9.8	58	9.0

今後利用したい事業

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
家庭教育に関する相談	71	12.7	102	15.9
教育研究所の教育相談	74	13.2	91	14.2
子育ての相談窓口	74	13.2	115	17.9
ファミリー・サポート・センター事業	72	12.8	115	17.9

傾向：各事業を知らない保護者が増えている。利用したことがある事業の割合は5年前とほぼ同様となっており、今後の利用希望については各事業とも減少している。

問14 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

選択肢	令和 5 年度		平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
あった	419	74.7	389	60.6
なかった	127	22.6	241	37.5
無回答	15	2.7	12	1.9

傾向：病気やケガで学校を休む児童の割合が増加している。

問 14-1) お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法と、それぞれの日数をご記入ください

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
父親が仕事を休んだ	89	21.2	37	9.5
母親が仕事を休んだ	291	69.5	197	50.6
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	90	21.5	70	18.0
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	87	20.8	114	29.3
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービスを利用した	3	0.7	1	0.3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	63	15.0	32	8.2
その他	23	5.5	15	3.9
無回答	8	1.9	9	2.3
非該当	142		253	

※父親が仕事を休んだ日数 平均値：令和5年度 3.4日 平成30年度 2.7日

※母親が仕事を休んだ日数 平均値：令和5年度 6.5日 平成30年度 3.5日

※親族・知人に子どもをみてもらった日数 平均値：令和5年度 6.3日 平成30年度 3.9日

※父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数 平均値：令和5年度 15.7日 平成30年度 6.1日

※ベビーシッターを利用した日数 平均値：令和5年度 0.0日 平成30年度 0.0日

※ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービスを利用した日数
平均値：令和5年度 1.7日 平成30年度 2.0日

※仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数 平均値：令和5年度 2.6日 平成30年度 2.1日

傾向：父母が仕事を休んで、病気やケガの子どもをみる傾向が強まっている。

問 14-2) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。また、そう思う場合、1年間の利用したい日数もご記入ください

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	63	15.0	61	15.7
利用したいとは思わない	349	83.3	316	81.2
無回答	7	1.7	12	3.1

※できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数 平均値：令和5年度 7.5日 平成30年度 7.9日

傾向：病児・病後児保育施設等の利用を希望する保護者の割合は減っている。

問15 お子さんは現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、それぞれ週当たり日数もご記入ください。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
自宅	440	78.4	487	75.9
祖父母宅や友人・知人宅	70	12.5	95	14.8
習い事	234	41.7	271	42.2
児童センター	24	4.3	24	3.7
放課後児童クラブ(学童保育)	82	14.6	94	14.6
ファミリー・サポート・センター事業	5	0.9	7	1.1
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	125	22.3	164	25.5
無回答	25	4.5	9	1.4

※希望する週あたりの平均日数等

自宅 : 令和5年度 4.1日 平成30年度 3.7日

祖父母宅や友人・知人宅 : 令和5年度 2.3日 平成30年度 2.3日

習い事 : 令和5年度 2.6日 平成30年度 2.4日

児童センター : 令和5年度 3.6日 平成30年度 1.6日

放課後児童クラブ(学童保育) : 令和5年度 3.9日 下校時から16:53まで
平成30年度 4.4日 下校時から16:59まで

ファミリー・サポート・センター事業 : 令和5年度 3.3日 平成30年度 4.0日

その他(公民館、コミュニティセンター、公園など) : 令和5年度 2.6日 平成30年度 2.3日

傾向:自宅で過ごす児童の割合が増えているが、調査の対象を小学校6年生まで拡大したことが要因と推測される。

問16 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週当たり日数もご記入ください。(※放課後児童クラブについて何年生まで利用したいかをご記入ください。)

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
自宅	439	78.3	443	69.0
祖父母宅や友人・知人宅	85	15.2	87	13.6
習い事	252	44.9	257	40.0
児童センター	62	11.1	38	5.9
放課後児童クラブ(学童保育)	74	13.2	113	17.6
ファミリー・サポート・センター事業	6	1.1	7	1.1
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	180	32.1	161	25.1
無回答	33	5.9	26	4.0

※希望する週あたりの平均日数等

自宅 : 令和5年度 3.9日 平成30年度 3.3日

祖父母宅や友人・知人宅 : 令和5年度 1.8日 平成30年度 2.2日

習い事 : 令和5年度 2.5日 平成30年度 2.2日

児童センター : 令和5年度 2.7日 平成30年度 2.2日

放課後児童クラブ(学童保育) : 令和5年度 3.7日 下校時から17:09まで 4.3年生まで預けたい
平成30年度 4.1日 下校時から17:10まで 4.3年生まで預けたい

ファミリー・サポート・センター事業 : 令和5年度 3.0日 平成30年度 4.1日

その他(公民館、コミュニティセンター、公園など) : 令和5年度 2.5日 平成30年度 2.8日

傾向:児童を自宅で過ごさせたい保護者の割合が増えているが、調査の対象を小学校6年生まで拡大したことが要因と推測される。

問16-1 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯もご記入ください。

土曜日

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	40	54.1	57	50.4
低学年の間は利用したい	20	27.0	34	30.1
高学年になっても利用したい	13	17.6	21	18.6
無回答	1	1.4	1	0.9
非該当	487		529	

日曜日・祝日

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	55	74.3	92	81.4
低学年の間は利用したい	8	10.8	13	11.5
高学年になっても利用したい	8	10.8	6	5.3
無回答	3	4.1	2	1.8
非該当	487		529	

傾向：土曜日の利用希望者の割合はやや増加しているが、日曜日・祝日の利用希望者の割合はやや減少している。

問18 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
親子が気軽に集まれる場所などをつくってほしい(子育て支援センターなど)	77	13.7	102	15.9
子育てに困ったときに相談または情報を得られる場所を増やしてほしい	113	20.1	114	17.8
子育てについて学べる機会をつくってほしい	66	11.8	81	12.6
親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい(児童センターは除く)	218	38.9	281	43.8
子育てサークル活動をするための場所をつくってほしい	7	1.2	11	1.7
専業主婦など誰でも気軽に子どもを預けられる保育サービスを拡充してほしい	111	19.8	158	24.6
母子保健・健診を拡充してほしい	69	12.3	93	14.5
安心して子どもが医療機関にかかれる制度を拡充してほしい	282	50.3	324	50.5
子どもが病気や快復期のときに預かってくれる保育サービスを増やしてほしい	99	17.6	118	18.4
保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい	77	13.7	155	24.1
保育所を増やしてほしい	14	2.5	29	4.5
認定こども園を増やしてほしい	14	2.5	29	4.5
小規模保育施設を増やしてほしい	6	1.1	7	1.1
夜間保育所を整備してほしい	12	2.1	20	3.1
休日保育を増やしてほしい	23	4.1	58	9.0
一時保育を増やしてほしい	20	3.6	39	6.1
病児・病後児保育を増やしてほしい	42	7.5	60	9.3
児童センターを増やしてほしい	45	8.0	73	11.4
学童保育など放課後の小学生を安心して預けられる場所を増やしてほしい	109	19.4	131	20.4
小学校の長期休業(春・夏・冬休み)に子どもを安心して預けられる体制を整備してほしい	144	25.7	185	28.8
非行防止など青少年育成の体制を整備してほしい	89	15.9	96	15.0
多子世帯の優先入居や広い間取りの割り当てなど、市営住宅入居面で配慮してほしい	26	4.6	44	6.9
残業時間短縮や休暇取得促進など、子育てのための職場環境の改善を企業に働きかけてほしい	145	25.8	160	24.9
その他	43	7.7	29	4.5
特になし	62	11.1	48	7.5
無回答	30	5.3	16	2.5

傾向：親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい、安心して医療機関にかかれる制度を拡充してほしいという要望が引き続き多い。

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和5年度		平成30年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
1(低い)	54	9.6	38	5.9
2	116	20.7	121	18.8
3	256	45.6	329	51.2
4	79	14.1	115	17.9
5(高い)	25	4.5	19	3.0
無回答	31	5.5	20	3.1

平均値：令和5年度 2.8、平成30年度 2.9

傾向：子育ての環境や支援への満足度はわずかに減少しており、今後は、さらに満足度を上昇させなければならない状況にある。